

# 防火管理

119号  
2012.1

発行／川崎市防火協会連合会 発行人／川崎善太郎

発行所／川崎市川崎区南町20番地7 川崎市消防局予防課内 TEL.(044)223-1199



新型車両「震災工作隊」（搬送車両と双腕作業機）

❖ 平成23年中の火災の概要	1
❖ 東日本大震災、緊急消防援助隊 活動概要について	2～4
❖ 川崎幸病院の防火防災管理	5
❖ 明治大学生田キャンパスの 防火防災について	6
❖ 川崎市危険物運搬防災連絡協議会だより	7～10

“消したはず  
決めつけしないで  
もう一度”  
平成23年度全国統一防火標語

# 川崎幸病院の防火防災管理

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 防災対策チーム実行委員会

## 1 はじめに

川崎幸病院は、国道1号線沿いの南河原公園隣に立地しておりますが、現在、川崎駅西口再開発地域内の幸区大宮町に新病院を建築中で、本年6月に移転する予定です。

新病院では、救急医療の充実等、さらに地域医療を推進させると共に、災害に強い病院を目指して準備を進めております。

## 2 防災対策チーム発足

川崎幸病院では、高度医療の推進と医療ニーズの高まりに応えるために、年々職員を増員させ、現在、約570名の常勤職員が勤務しております。

全ての職員に防火防災意識を浸透させるために、各部署に防災対策の軸になるスタッフが必要と考え、防災対策チームを編成して活動を開始することになりました。

防災対策チームの目的は、患者さんに安心して通院、入院して頂くことのできる「災害に強い病院」とすることです。

平成22年度に防災対策チームを発足させ、実行委員が訓練計画を立案し、訓練回数を年2回から4回に増やし意識の向上を図りました。

そして、昨年3月の東日本大震災を経験し、災害に備える必要性を再認識させられ、翌月から活動を月に1回として、半日をかけ訓練に防火防災教育も加えて実施して行くこととしました。

## 3 防災対策チーム活動内容

月に1回開催される防災対策チームの活動には40～70名が参加しています。

昨年は、新潟県中越地震で被災された病院の看護部長さんを招いた講義や、災害発生時におけるアクションカードの作成訓練、震災時等における多数傷病者の受入訓練、入院患者さんの避難誘導訓練、消火器や屋内消火栓による消火訓練、火災通報装置を使った通報訓練、起震車での地震体験など、幸消防署の協力も受け、多岐にわたり実施しております。

## 4 終わりに

防災対策チームの活動により、職員の訓練等への参加機会が増え、全体の防火防災意識の高揚を実感しております。

毎月実施することで、日々、患者さんに接しながら「今、災害が発生したら…」と考えることが増えました。

新病院へ移転後もこれを継続し、災害発生時には地域の中核病院として、皆さんの期待に応えられるようさらに体制を整えてまいります。

災害時傷病者受入訓練

